

2012 年度

東邦大学看護学部・ソンクラー王子大学看護学部

来日研修報告書

看護学部

目次

1. はじめに

2. 訪問プログラム

- 1) ソンクラー王子大学訪問メンバー
- 2) 東邦大学看護学部メンバー
- 3) 訪問プログラム日程

3. 交流風景など

1. はじめに

昨年に引き続き、タイ国ソクラー王子大学看護学部の教員が、東邦大学看護学部の視察に訪れた。ソクラー王子大学は国立大学であり、南部タイにおける大学教育と大学病院における高度先端医療の中心的役割を果たしている。東邦大学とは、大学間協定が結ばれており、ソクラー王子大学（タイ）、昆明医科大学（中国）、チェンマイ大学（タイ）、そして東邦大学の4大学は、2年に1度定期的に国際学会を開催している。

2011年には、第7回目ジョイントセミナーがソクラー王子大学で開催された。その際には、看護学部より国際交流センター委員長である近藤麻理が、「シンポジウム：Overview of HIV Infection」の演者として「AIDS Awareness and Attitudes in ASIA」を講演した。また、看護学部と大学病院看護部への訪問も行なった。国際学会は、堅苦しい研究発表だけではなく、学生によるタイ伝統舞踊の披露や会食などが催され、3カ国、4大学の関係者は研究交流を深めた。

今回の視察では、今後の看護学部間交流をどのように具体的に深めるかを議論した。ソクラー王子大学看護学部では、2014年3月に看護の国際学会を開催する予定があり、その際に東邦大学看護学部にも共催大学として重要な役割を期待するものであった。国際学会では、研究発表だけではなく世界から集まる看護研究者との交流も可能である。看護学部の多くの教員が、その研究成果を国際学会で発表することを切望するとともに、このような発表と交流の機会を多く作り、次の世代の教育や研究の発展につなげなければならないと話合った。

東邦大学看護学部が、伝統あるタイ国ソクラー王子大学看護学部との国際交流を継続していることを誇りに思うとともに、今後も、今まで以上に学生や教員の間で積極的な国際交流活動の推進を行なっていきたいと考える。

東邦大学看護学部国際交流センター委員会

2. 訪問プログラム

1) ソンクラー王子大学訪問メンバー（敬称略）

Dr. ARANYA CHAOWALI 准教授

Dr. HATHAIRAT SANGCHAN

Dr. QUANTAR BALTHIP 准教授

2) 東邦大学看護学部メンバー（敬称略）

高木廣文 学部長

近藤麻理 国際保健看護学教授

2. 訪問プログラム日程

月日	時間	内容
4月14日 (土)	22:30 羽田着	近藤麻理教授お迎え
4月15日 (日)	10:00	東京観光 自由時間
4月16日 (月)	8:45 9:00 15:00 羽田発宮崎へ	ホテル出発 東邦大学看護学部 訪問 意見交換・共同研究・国際交流他 (高木廣文学部長、近藤麻理教授と共に)

3. 交流風景

高木廣文学部長、近藤麻理教授と意見交換



タイ国 ソンクラー王子大学看護学部

Dr. ARANYA CHAOWALI 准教授 Dr.HATHAIRAT SANGCHAN

Dr.QUANTAR BALTHIP 准教授



2012年度 国際交流センター委員会

委員長	近藤麻理
副委員長	松永佳子
委員	岡田敦子
	角田ますみ
	富岡由美
	天野里奈
	佐山理絵
	三條真紀子
	中澤千佳

2012年度

東邦大学看護学部・ソンクラー王子大学看護学部

来日研修報告書

発行日 2012年12月

発行 東邦大学看護学部国際交流センター委員会

〒143-0015 東京都大田区大森西 4-16-20

TEL 03 (3762) 9881
